

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般ご案内致しました下記項目におきまして、診療行為コードに誤りがございましたので、訂正し再度ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 26 年 3 月 24 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	total P NP (型プロコラーゲン-N-プロペプチド)
検査コード	7123
JLAC10	5C120-0000-023-053-01
診療行為コード	160201750
検体量	血清 0.3 mL
保存・容器	冷蔵・A1 A2
実施料（判断料）	170 点（生化 ）
所要日数	1 ~ 2 日
検査方法	ECLIA 法
基準値	男 性：18.1 ~ 74.1 女性閉経前：16.8 ~ 70.1 女性閉経後：26.4 ~ 98.2 ng/mL

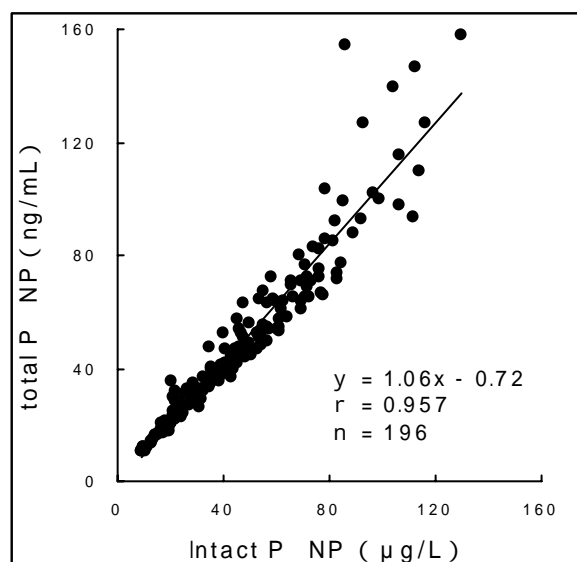
保険収載名称： 型プロコラーゲン-N-プロペプチド（P NP）

保 険 注 釈：骨型アルカリホスファターゼ（BAP）、インタクト 型プロコラーゲン-N-プロペプチド（Intact P NP）、ALP アイソザイム（PAG 電気泳動法）及び 型プロコラーゲン-N-プロペプチド（P NP）のうち 2 項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

《 解 説 》

P NPは Ⅰ型プロコラーゲン-N-プロペプチドの略称であり、前駆体の Ⅰ型プロコラーゲンのN末端より切断され血中に放出されます。生理活性を持つ三量体のみでなく単量体のP NPも測定し、BAPやオステオカルシンと比べ、骨形成のより早期の指標となり得るのが特徴です。PTH製剤の投与開始後ごく早期から顕著な上昇を示すため、投与後のモニタリングおよび治療効果判定に適しているとされています。

《 相 関 図 》



【自社データ】